

2024年10月31日

各位

プロパティデータバンク株式会社
(コード番号: 4389 東証グロース)

プロパティデータバンク×福井コンピュータアーキテクト 国産BIM建築設計支援システム「GLOOBE Architect」とBIM連携が可能に

プロパティデータバンク株式会社（代表取締役社長：武野 貞久、本社：東京都港区、以下、当社）の@property および@cmms、@iwmsにおいて、福井コンピュータアーキテクト株式会社（代表取締役 COO：田辺 竜太、本社：福井県坂井市）のBIM建築設計支援システム「GLOOBE Architect」から、不動産経営・管理に必要なBIMデータの連携が可能となりました。



【背景】

現在、多くの建物において、所有者や管理会社は、重要な建物図面や書類を別々に所有・利用しており、その更新状態も統一されていません。テナントの契約情報や施設や設備のメンテナンス情報、収益やコストに関する資産情報は書類化され、そのため各情報は散逸しています。また、これらの情報は建物図面と連携されていません。こうした情報の有効活用が期待できない状況は、建物ライフサイクルの長期的なコストの把握や将来の収益性などを勘案した効果的な施設投資を著しく困難にしています。

こうした課題に対して、BIM建築設計支援システム「GLOOBE Architect」と当社の統合資産ERP「@property」、設備メンテナンスDX「@cmms」、ワークプレイス運用DX「@iwms」が連携し、BIMデータを活用することで、建物の構造や設備に関する情報、スペースの面積や位置、改修工事の実施状況など、資産管理に関する幅広いデータを可視化、一元化することで、総合的な資産管理データベースを構築することが可能になります。

【連携の概要】

- ・BIM建築設計支援システム「GLOOBE Architect」から、不動産経営・管理に必要なBIMデータを当社の統合資産ERP「@property」、設備メンテナンスDX「@cmms」、ワークプレイス運用DX「@iwms」に直接取り込む
- ・クラウド上の連携となるため、BIMソフトを起動することなくBIMデータを容易に利用できる

【今後の見通し】

「@property」は不動産ファンド、不動産会社、電力会社、電鉄会社、金融機関、製造業、インフラ産業等の様々な企業に導入されています。今後、これら既存ユーザー企業に対して BIM データの活用を普及促進するとともに、新規ユーザーへの PR を積極的に展開します。

本サービスが業績に与える影響につきましては軽微です。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

【プロパティデータバンク株式会社 会社概要】

- 代表者： 代表取締役会長 板谷 敏正
代表取締役社長 武野 貞久
- 設立： 2000 年 10 月 2 日
- 所在地： 本社 東京都港区浜松町一丁目 30 番 5 号 浜松町スクエア（受付 6F）
大阪 大阪市中央区北久宝寺町四丁目 4 の 7 VPO 本町セントラル
- 資本金： 332,715 千円
- U R L : <https://corp.propertydbk.com/>
- 事業内容：

2000 年 10 月の創業以来、不動産・施設等の運用管理等に特化した統合資産管理クラウドサービス「@property」の提供を主力事業と位置付け、市場を開拓・拡大して参りました。
「@property」は、不動産・施設の運用管理における業務効率改善、資産価値向上のためのクラウドサービスであり、お客様のリアルタイム経営戦略をサポートします。

【本件のお問い合わせ先】

東京都港区浜松町 1 丁目 30 番 5 号 浜松町スクエア （受付 6 F）

プロパティデータバンク株式会社 広報担当： 須田

電話番号：03-5777-3468 メールアドレス：a-suda@propertydbk.com